



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：鈴木 浩司 幹事：海和 浩運

地区目標 元気なクラブづくりのために「ロータリーの木」の苗木を植えましょう、クラブに、地域社会に、世界に、次世代のために

クラブテーマ 「ロータリーを発信しよう」一人ひとりの感性で

- ◆点鐘：鈴木 浩司 会長
- ◆ロータリーソング：奉仕の理想
- ◆司会：武田 岳彦 S.A.A.
- ◆会場：山形グランドホテル

Yamagata West Rotary

第2876回例会

令和2年3月30日(月)

会長挨拶

鈴木 浩司 会長



皆さまこんにちは。街中はコロナの話題ばかりで、私もあんまりコロナの話はしたくないなと思っております。

午前中、志村けんさんがお亡くなりになったという情報が入りまして、非常に悲しい思いをしております。

日本だけでなく、世界各地でいろんな状況が変化をしております。ロータリーも不要不急なのかと言われれば決して不要不急の集まりではないわけですが、私とすればできるだけ例会はやっていこうかなという気持ちでおりますが、山形、1人でも感染者が出ましたら、いろんな形で相談をしながら進めていきたいと思っておりますが、とりあえずは感染者が出ないことを祈りつつ例会をしてみたいと考えております。

暗い話ばかりで、何を話していいのかわからない状況の中、今週、先週にかけて、菅原会員が山形コミュニティ新聞の1面を飾っておりました。また先週の金曜日には、伊庭会員の下、野村証券さんのY.T.S.さんのテレビ番組で伊庭支店長から菅原さんがインタビューを受けるという、続けて菅原会員がマスコミに登場したということで、明るい話題かなと思っております。ぜひ後ほどのニコニコをお願いいたします。

皆さまも鷹揚の会合、いろんなキャンセルが相次いでいると思いますが、ご家族で感染の恐れのないような形でぜひ家族サービスをしていただけたらなと思っております。そんなことで、何とか例会が続けられるように、皆さまと共に祈りたいと思っております。本日はありがとうございました。

委員会報告

親族・家族委員会

4月13日、恒例となりました観桜会を開催させていただきます。皆さまのお手元には案内を出させていただいておりますが、今週の金曜日、3日が締切となっております。何とぞたくさんのご参加をお願いいたします。今回ばかりは私の判断で、開催を決定することができなくて、会長から「やれ」という指示をいただいておりますので、当日は消毒液を3本確保いたしました。また会の途中で、窓をしっかりと開けて、換気も親睦委員会のほうでやらせていただきますので、どうぞ安心して奥様と共にご参加いただきますように、よろしくお願いいたします。

職業交流委員会

球風会のご案内ということで、4月19日日曜日に球風会を開催させていただきます。このような状況ではありますけれども、桜の見える頃だと思っております。いい頃でありますので、ぜひ皆さんで例年通りの球風会を楽しみたいと思っております。現在15名の参加をいただいております。締切は4月6日になっておりますので、奮ってご参加いただきたいと思います。

ロータリー財団委員会

うちのクラブの目標が1万4,000ドルです。ほぼほぼですけれども。現状は1万1,000ドルのご寄付をいただいております。残すところ3,000ドル、たった3,000ドルなんですけれども、まだご寄付をいただけていない方が半分ぐらいいらっしゃいます。私のほうから、大変申し訳ないんですが催促をさせていただいて、できるだけ多くの方にご寄付をいただきたいなと思っております。今月は勝手ながら、4月はロータリー財団の月間ということで、皆さまお1人お1人に、「ちょっとお忘れじゃないですか」というお願いをさせていただきたいと思っております。よろしくご協力をお願いします。

退会者挨拶



大西 章泰 会員

本当に3年間非常に楽しいロータリーのライフを過ごさせていただきました。こんなに山形が楽しい地になったのは、この西ロータリー様のおかげだと思っております。ゴルフのスコアもうまくなりました。山形の観光大使にもなり、そして山形のうまいもの全部食べてまいりました。思い残すことはあと1年、更に遊びたかったんですが、会社はもうさすがに遊んでることばれましてですね、「ちゃんと仕事しろ」ということで大分に行くことになりました。

実は1時から引越業者が来て荷出しなので無理にお時間を頂戴しましたが、どうしても皆さんの顔だけ、いろんな会でお会いできるはずの方々とお会いできなくなってしまったので、最後きちんと挨拶だけしたいと思ひまして今無理に頂戴いたしました。

皆さまのおかげでほんとに楽しい山形過ごせました。私の後任は、若い頃に山形に来てた人間でございます。15年振りぐらいに山形に来て、担当者で山形に来て支店長で山形へ戻るっていうのは本当に嬉しいっていうことで、カワベという者がまた私の後任でまいりますが、引き続きご愛顧のほうよろしくお願ひします。皆さま本当にありがとうございました。

本日の献立



ゲスト卓話

「現在の青果物流通について」

株式会社丸勘山形青果市場
代表取締役専務

井上 周士 氏



皆さま、改めましてこんにちは。平素より誠にお世話になっておりましてありがとうございます。

すいません、今日、パワーポイント作ってききましたが、マシントラブルということで、紙を見ながら大変拙い講演となりますが、よろしくお願ひしたいと思います。

まず、丸勘山形青果市場、丸勘の勘は勘定の勘でございます。祖父、井上カンザエモンが昭和30年に山形の銅町で創業いたしました。その後、父が継ぎまして、その頃は交通網も発達してなかったのですが、いち早く東京のほうから荷物が来る市場だということで、片道10何時間かかって東京のほうから荷物を寄せて、販売して、多くの八百屋さんや近くの市場も繁盛したという印象が残ります。

昭和49年頃、山形市のバイパスに中央卸売市場（正式名称「山形市公設地方卸売市場」：補足）が開場となりました。そうしましたら、流れが一気に一変しまして、中央市場のほうに全部人も物も流れていったということで、非常に経営が苦しくなったのが印象でございます。父が中央市場に入るように言われたんですけども、8つぐらいの市場が入るように言われて、そんなに多くの経営者がいて、市場がまとまるわけがないということで入りませんでした。その後、父が一大決心をしまして、今の市場の近隣のさまざまな土地の所有者に交渉しながら、平成元年に移転しました。通常、市場と申しますと、生産者の農家さんがいて、農協、全農、市場、仲卸、量販店や加工業者、消費者という6工程なんですけども、そのような経緯で市場をオープンせざるを得ない状況だったものもありまして、当初の場合は生産者、市場、量販店や加工業者という3工程で始めたことになりました。

それで、今の青柳に移りまして、当然出荷者もいませんし、出荷者もほとんど中央市場に出しますし、買いにもほとんど向こうに行っていたので、近隣の生産者のところを約8名ぐらいの社員でぐるぐる回りまして、「出してけろ、出してけろ」って苦勞して回り、「お前んどご、潰れるつったんねがよ」なんていう噂もたてられながら、一生懸命生産者を開拓していったということでございました。仲卸がないもんで直接売らなくちゃいけない。普通の買出人組合の買出人の番号を取ると、保証金で約200万円くらいかかるハードルを、うちの場合は1万6千円までハードルを下げまして、誰からでも買ってもらえるように、利用してもらえような形で営業してまいりました。

買出人組合も、当然うちの市場も、銅町から買っても

らってたお客さんもいたんで、買出人組合がいろんな会議をして、「このお客さんと、俺、売ってるが駄目だ」とか、「給食センターは、うち、やってから駄目だ」といろいろな軋轢があったんですけども、買出人組合も、父が解体して、生産者から市場、市場から買出人という流通工程をなるべく短くして、生産者の手取りも上がるということで、そういう流通過程を経てやったところ、時代にもうまく乗らせていただいて、ちょうど1999年に私が戻ってきました。3年間、大宮の市場で勉強させてもらって、当初の売上は、現在130億円ございまして、平成元年は10億円未満でございました。私が戻ってきた頃は36億円でありまして、その頃も生産者を回った時も、「マルカ？ 丸勘？ どっちだわがね」なんて言われながらも、一生懸命PRして、今日があるということでございました。

ちょうどその頃、八百屋さんから量販店に時代も移りまして、ヤマザワさんの取引がおかげさまでどんどん増えていたり、途中でヨークベニマルさんとの取り組みであったり、また県外のほうにもいろいろ増えてというようなことがございます。当社は農協の役目と仲卸の役目を担っている市場でございまして、生産者のほうにスポットライトを当てますと、いろいろ産地を作って産地開発を多くおこなっております。

例えば九州の長なすを持ってきて、長なすの組合を作ったり、トマトをバラで出荷してもらって、トマトを共選機でかけたり、ミニトマトをバラで集めてミニトマトを出荷したり、そういった形で生産者の産地育成に力を入れまして、取り組んでございます。

生産者からバラで出荷してもらいますので、それを弊社のパッケージセンターでパッケージをして、さまざまな今の流通形態に変えて取り組んで、相場が上がったら、例えばその量目を減らしたり、相場が安かったらそれを大袋や、大きい袋にして売価に反映するというので、平成12年ぐらいにパッケージセンターを設立したのも当社にとって大きな追い風になった1つでございます。「地産地消」という言葉、聞かれると思うんですけども、約10何年前から地元で出荷されたものを地元で消費する。そういう組合を作って県外に出荷する。

今は人口減少だったり、核家族だったり、また高齢化による胃袋の減少ということもございまして、消費が少し減ってきてますので、山形のしっかりしたターゲットを押さえながらも、県外の荷主も、すべて農協さんも含めて、普通市場というのは、よく東京の市場だったり、千住市場だったり、ああいうところから買付けするんですけども、買付けというのは市場から買って、運賃もかかって、使用手数料は8.5%でございます。果物は7%でございます。そういった手数料をさらに運賃と手数料を乗けて売りますけども、県外のいろんな出荷団体もさまざま開拓しまして、約550団体ほどその県外の荷主も直接山形のほうに入ってきます。九州のトマトであったり、なす、愛媛のみかん、北海道のじゃがいも、タマネギ、北関東の薬物、そういったものもすべて入ってきます。

その県外から入った荷主を、今力を入れてるのは、うちの社長の外産外消という取り組みなんです。北海道のタマネギ、じゃがいも、にんじんを、今度、さくらんぼで結びついた東京の大手量販店の市場を通さずに直接着けて、伝票だけ市場を通させてもらって、山形は山形で抑えながら、関東のまだ人口が減らない部分のマーケットを抑えるという動きも強化しております。

市場の時代の流れなんですけども、今は人口減少と、女性の社会進出による調理離れ、核家族化ということで、料理をしなかったり、包丁を持たなかったりという傾向がございまして。何が1番増えてるかということ、カット野菜ですとか、惣菜、冷凍食品、ミールキットなんていうのもございます。サラダのほうにドレッシングも入って、開けて、調理するだけとか。お鍋も、鍋で煮込んで調味料入れるだけとか。また、大根やキャベツや白菜なども、前は1個売りでどんどん売れたんですけども、それが2分の1だったり、4分の1じゃないと売れなくなってきたりとか、そういうような傾向にございます。それで1昨年、パッケージセンターに低温のパッケージセンターを建てまして、そこで大根、キャベツの2分の1、4分の1カットをおこなったり、スーパーの支援という部分で、サツマイモを乱切りにして真空パッケージにして、大学いもの惣菜用の真空パックを作ったりですとか、天ぷら材で、かぼちゃとさつまいもの天ぷら惣菜の詰め合わせなんかも作っております。その丸もの1個ものだけでは売れづらくなってきてますので、時代の流れに乗せるような取り組みを様々おこなっております。

実はコロナウイルス、東京のサミットスーパーと、千葉のイオンでも出まして、そこでは約1週間ほどの営業停止になりました。その前に札幌の市場でも仲卸の職員にコロナウイルスが検出されましたが、そこでは営業停止にはなりません。市場の場内を徹底的に消毒した上に、競売を中止にしまして、すべて対面販売ということで対面販売の取引を強化しまして、そのまま営業となりました。

後に厚生労働省の方針としまして、やはり食を取り扱う業種は重要な位置を担っているということで、マスク、うがい、手洗いの徹底と、しっかり距離感を取りながら業務を営業するというので、もしコロナウイルスが検出されても営業を続けるというような方針になったということでございます。市場の状況としまして、3月2日からの学校一斉休校と、それに伴う宴会や業務系の自粛という流れがあって、どうしても業務系の納めの方の仕入れ額がガクンと減りました。しかしながらその小さい飲食店は少し注文あるそうでございますけれども、大きいところが減ったということです。その一方で、巣ごもり需要ということで、1番新しい状況としましては先週末から関東を中心にすごい引合いが強くて、いずれも結構記録的な高値が出てございます。

大根1本400円、キャベツで1個300円になったり、もしお買い物するのなら今がチャンスでございまして、ちょっと耳寄りな情報ですけども、ここから後半に向けてどんどんどんどん相場が上がっていきます。

今度各県で外出自粛要請となると、一般的なスーパー

ニコニコBOX

〈3月30日〉

鈴木浩司会長／井上周士さんをお迎えして
「食」シリーズ、なかなか聞けない話をお聞きするのを楽しみにしています。いつもの元気な井上君、いつも通りお話しください。

長谷川浩二さん／井上周士専務を歓迎して
井上直洋会長には親父が、周士専務には息子が、何かとわがままを言っている。寛容の上ご厚情いただいていることに感謝。丸勘山形青果市場の益々の隆盛を祈念いたします。

新藤幸紀さん／ニコニコ&シクシク
1. 英国人女性旅行家イザベラ・バードの顕彰碑が完成しました。マスコミ各社からの取材もあり3月26日に除幕式が行われました。佐藤市長からの祝辞、駐日英国大使からのメッセージ等々をいただきました。山形西ロータリークラブ会員諸兄からも多大な支援を頂戴し、感謝申し上げます。ぜひご覧ください。
2. 4月1日母校の入学式に「卒業50周年の私達」が招待されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止になってしまいました。残念です。25年前の現役学生の卒業式にも招待されていましたが、その直前に地下鉄サリン事件が発生し大混乱でした。何かの巡り合わせでしょうか。

結城和生さん／例会日とマイバースデーが初めて重なりましたので。

市村清勝さん／井上周士君の卓話が楽しみです。ニコニコしながら聞かせていただきます。

菅原茂秋さん／お騒がせしております
この度のマスコミをお騒がせしてしまい大変恐縮です。今までお支えいただいたお客様、社員さん、そして伊庭さんに感謝してニコニコさせていただきます。

遠藤正明さん／井上周士さんをお迎えして
いよいよ登場、楽しみにしています。このまま入会…?

渡辺隆博さん／山形県全体で婚活を応援しています
山形県全体で人口減少が進んでおります。県、全市町村で出会いサポートセンターという団体を作っております。独身者の出会いの場が少ないということから、マッチングシステムによる1対1のお見合いをおこなっておりますので、ポスターを掲示して協力をお願いしたいと思います

への注文が刺さったということで、非常に一般的な野菜が高くなってるという状況でございます。

それに伴って、コロナウイルスで売れてる食材は、長く置けるということで、にんじん、じゃがいも、タマネギ、りんご。あとは、免疫力を高めるという部分で、長いも、しょうが、ニンニク、非常に人気があるということでございます。黒ニンニクなんかも大分、通常よりも売れてきてるといことです。

それで、今もう1つ問題になっているのが航空便とか輸入便がだいぶ規制になってる、もしくは減便になってるといことで、輸入野菜の一部が高くなってきてます。またバナナに関しては、今フィリピン中心に入ってきてるんですけども、フィリピンの労働者が外出の自粛要請が入ってて労働者が全く働けない状況がありまして、今月下旬ぐらいからかなり品薄になってくるというような情報が入ってきてます。今後そういった輸入野菜、果物にも影響が出てくると見られております。

もう1つのちょっと大きな問題が、昨年末よりあった暖冬でございます。さくらんぼが結構影響出そうでございます。普通芽が動き出すのが3月の中旬からなんですけども、ひどいと1月下旬から「木少し動いっただは」なんていう生産者の話もございまして、芽もだいぶ膨らんで、非常にちょっと心配であるというような状況でございます。さくらんぼ、それによってどういった怖い状況が起きるかと申しますと、霜害注意報ってということで霜がかかってしまうと、その花芽のめしべ、おしべがやられてしまって、全く実がなくなってしまうということで、昨年もちょうと同じように霜害があったので、記録的な不作となったんですけども、今年もその傾向があるということでございました。さくらんぼに休眠期であるのご存知でしょうか。やはり人間には睡眠があるように、果樹の木々もしっかり眠らなくちゃいけないということで、大体7度以下で、1,400時間眠らなくちゃいけないということでございまして、生産者によっては「木もしっかり寝てないんじゃないか」っていうような話もございました。暖冬の影響で木も寝てないという状況でございました。

もちろん少子高齢化だったり、共働きの増加だったり、核家族化、調理離れ、生産者の減少と、そしてここに来て新型コロナウイルスという様々な状況でございますけども、丸勘市場は、生産者約5,000名、出荷してる方としっかり手を組んで、産地育成や、そして消費者の方としっかり手を結んで、これからも頑張っていく所存でございます。ご清聴ありがとうございました。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (3/30)	94名	57名	修正出席 (3/9)	94名	85名	81名	95.29%
メイクアップされた会員	(山形北) 長岡 寿一、伊藤 歩 (山形) 藤田 良仁、結城 和生						